



# 林 声

2021  
11 月号



県内各地の森林をご紹介します「様々なスタイルの森・おかやま」。今回は美作市内の東粟倉地域にある「愛の森」(約113ヘクタール)についてご紹介します。(詳細はP 2に記載)

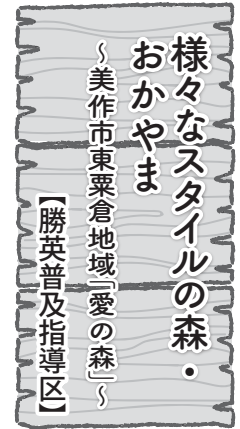
## 目 次

様々なスタイルの森・おかやま ～美作市東粟倉地域「愛の森」……………	2	技能講習等情報 ……………	10
第60回全国林業経営推奨行事農林水産大臣賞 (真庭森林組合) ……………	3	林産物市況 ……………	11
第54回岡山県農林漁業功労者表彰 ……………	4、5	森林・林業施設の紹介 (早島町ふれあいの森公園) ……………	14
環境学習エコツアー(森林環境学習コース) ……	6		
林業労働災害の発生状況等 ……………	7		
『ニューフェイスです!』 (美作東備森林組合 春名圭吾さん) ……………	8		
研究だより(シカ被害の軽減に向けた試み) ……	9		

### 【ほっけ～木になる情報】

Q 岡山県の少花粉品種の種子は、どこでどのように生産されていますか?  
(答は13ページ)





一 はじめに

美作市の東栗倉地域は岡山県の北東部に位置し、東は兵庫県、西は西栗倉村に接しています。東栗倉地域の約83%が山林で、スギやヒノキの人工林が約67%を占めており、古くから林業が営まれていた地域です。

今回ご紹介する「愛の森」は、美作富士（みまさかふじ）と呼ばれる日名倉山の中腹に位置する約113haの森林です。この森林は



「愛の森」 遠景

スギやヒノキの人工林が主体であり、一部アカマツや広葉樹などの天然林も含まれています。

二 「愛の森」の設置経緯

旧東栗倉村では、ふるさと創生事業として「人、ふるさと、自然を愛する愛の村構想」を創設し、氷ノ山後山那岐山国定公園内にある森林（後山・日名倉山系）について、愛のシンボルとして定めることを明記しました。

その後、将来にわたって森林に対する理解と自然を愛する心を育成することを目的とした「愛の森」設定条例を制定しました。

条例では、この森林を「不伐」としていますが、手入れを全く行わないわけではなく、条例の目的



「愛の森」を見学する地元林研グループ

を達成するために、間伐などの保育管理を適正に行うこととしています。

三 「愛の森」の未来像

全国には、スギやヒノキの巨木が林立する森林が点在していますが、今回紹介した「愛の森」もそのような森林を目標としています。

現在、最も林齢が大きな林分でも70年生程度であり、目標とする林型までは、まだまだ長い年月が必要ですが、引き続き成長を促すための施策を行っていくこととしています。

四 少花粉スギの植栽

「愛の森」を管理する美作市は、高齢級の森林だけでなく、地域住民がこれから大きく育てていく森林も整備しようと、平成29年度に少花粉スギのモデル林（0.1ha）を区域内に設置しました。

植栽は、地元東栗倉小学校の児童17名の協力により行われ、一本一本愛情をこめて大事に植えられました。参加した児童からは、「これからどんな風に育つのか見てみたい。」などの感想があり、地域の森林を大事に思うきっかけとなったと感じました。

現在、モデル林周辺ではシカの食害が激しいことから、周囲を防

護ネットで囲むとともに、苗木1本ずつ保護資材を巻いて保護するなど手間をかけて育てています。



少花粉スギモデル林

五 最後に

「愛の森」がある場所は交通の便も良く、一般の方でも気軽に見学できるようにしており、地域住民の森林に対する理解を深めてもらう場として利用されています。

今回の取材を通して、当時の関係者からお話をお伺いするうちに、地域のシンボルである「愛の森」を後世へ引き継いでいくという強い思いを感じることができました。私たち林業普及指導員もその思いに応えるよう協力していくこととしています。

（勝英普及指導区 上野 和俊）





真庭森林組合のみなさん

## 第60回全国林業経営推奨行事 農林水産大臣賞受賞のご紹介

真庭森林組合

森林の適正な管理並びに林業の技術・経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林の管理経営体を表彰する「第60回全国林業経営推奨行事」(公益社団法人大日本山林会主催)において、真庭森林組合が農林水産大臣賞を受賞されました。心からお喜び申し上げます。

### 一 真庭森林組合について

真庭森林組合は、昭和50年10月に当時の真庭郡内の6組合が県内で初めて広域合併して発足し、平成17年には美甘村森林組合が合併して現在に至っています。

組合員数は6,249名で、その所有山林は51,429畝と、真庭地域の民有林面積の約8割を占めています。(数値はいずれも令和3年3月17日時点。以下、同じ。)

職員数は一般職員が24名、作業班員が31名で、作業班員の平均年齢は44歳となっており、8班体制で森林整備を行っています。

### 二 林業経営の効率化に向けた取り組み

真庭森林組合では、効率的な施策による低コスト化を図ることを目的として、「森林経営計画」の策定に積極的に取り組んでいます。森林施業プランナーの資格を持った職員等が森林所有者に施業の提案を行い、森林を面的に取りまとめて施業を集約化しており、令和元年度末には、組合員の所有面積の42%にあたる21,760畝において森林経営計画を策定しています。

また、平成30年度から真庭市と連携し、タブレット端末を利用した森林施業システムの開発の実証を行うなど、新たな技術を積極的に

に導入し、収益性の向上に努めています。

### 三 森林整備と木質バイオマスの取組み

真庭森林組合では、伐期を迎えた人工林資源を有効に活用するため、生産体制や生産基盤の強化を図りながら、搬出間伐等の森林整備事業等を積極的に進めており、本県の素材生産に大きく貢献されています。

木質バイオマス事業の取組みでは、平成21年度から未利用間伐材等の中間土場(サテライト基地)の設置を始め、平成22年度及び26年度に真庭市月田地区内にチップ加工の集積基地を整備・拡充し、市内のバイオマスボイラーや真庭バイオマス発電所への燃料用チップの供給を開始しています。



林業機械による搬出間伐作業

真庭バイオマス発電所への燃料供給では、これまでに取り組んだチップの乾燥方法や品質管理の技術等が活かされ、良質な燃料用チップ

の安定供給が行われており、森林所有者の収益向上にも繋がっています。



燃料用チップの製造

### 四 真庭市との連携・協力による新たな取組み

真庭市では、広葉樹のバイオマス燃料としての事業性等を検証するための実証事業や、早生樹の可能性を検証するための植樹調査を他の地域に先駆けて行っており、真庭森林組合は、これらの取組みに積極的に連携・協力しています。

また、市が進める森林経営管理制度においても、森林所有者情報など地域に精通し、森林の経営管理に関する技術を有している森林組合が、制度の推進に重要な役割を担っていくことが期待されており、令和3年4月に県内で初めて森林経営管理実施権が設定されました。

受賞された真庭森林組合の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(林政課 普及指導班)

## 第54回岡山県農林漁業 功労者表彰受賞者の紹介

林業・木材産業の振興に尽力された方々の受賞が決定しました。心からお喜び申し上げます。(敬称略)

### 《知事表彰〔林業部門〕》

細川 努 (奈義町)

細川氏は、昭和56年から40年の長きにわたり種苗生産に取り組み、卓越した技術と旺盛な研究心により優良な林業用苗木の育成を行い、経験に裏付けられた生産技術を確立されています。

また、省力低コスト再造林の切り札としてコンテナ苗が注目されており、

県下でもいち早くコンテナ苗の生産を手がけるとともに、全国的にスギ・ヒノキ花粉症が社会問題化する中、少

花粉スギ・ヒノキ苗木の生産技術の確立にも尽力され、地域の生産者にその技術を積極的に広めるな



細川 努氏

ど、地域の牽引役として活躍されています。

### 《知事表彰〔団体指導者部門〕》

竹本 眞士 (津山市)

竹本氏は、平成23年から(一社)岡山県木材組合連合会の理事に就任され、木材フェスティバルなど各種イベントでの普及PRや県産材を使った木造住宅の普及促進を担う県産材サポーターの育成を推進するなど、県産材の需要拡大に尽力されました。

また、岡山県木材協同組合連合会の理事、副会長を歴任され、県下の協同組合及び木材・製材業界の指導者としてリーダーシップを発揮し、組合員の結束及び組織運営に積極的に取り組むとともに、地区組合との連携を図り、木材業界全体の発展に貢献されています。



竹本 眞士氏

山下 薫 (真庭市)

山下氏は、平成23年から(一

社)岡山県木材組合連合会の理事に、平成27年からは副会長を務められ、木材業界の指導者として卓越したリーダーシップを発揮し、組織運営と地区組合との連携強化に尽力され



山下 薫氏

れるとともに、木材フェスティバルなど各種イベントでのPRをはじめ、東京五輪大会選手村ビレッジプラザ整備への県産製材品の提供、県産材を使った木造住宅への助成、韓国等への輸出促進等に取り組む、林業・木材業界の発展と県産材の需要拡大に大きく貢献されています。

また、(一社)全日本木材市場連盟の理事・中国支部長として、木材市売市場の連携強化を図るとともに、国産材の安定供給体制の整備に向けて、木材市場の発展に尽力されています。

### 《農林水産部長表彰〔林業部門〕》

浮森 達三 (岡山市)

浮森氏は、適期に除伐、間伐、枝打ち等を実施して優良材生産に取り組み、岡山県民有林優良材展

示コンクールで優秀な成績を収めるなど、模範的な森林施業を地域に広め、適正な人工林整備の推進に尽力されています。

また、人工林率が低い県南地域において、率先して所有山林の経営を岡山森林組合に委託し、施業の集約化や路網整備を推進するほか、県の花粉発生源対策に呼応し、所有人工林の伐採跡地に少花粉ヒノキ苗による再造林を実施するなど、地域林業の振興に貢献されています。



浮森 達三氏

向井 王則 (真庭市)

向井氏は、高性能林業機械を積極的に導入して路網と林業機械を組み合わせた作業システムを構築し、生産性の向上に努めるとともに、山主にも配慮した間伐施業を実践されています。

また、真庭バイオマス発電所に向け、チップパーを改良して山土場などで原木を破碎し、チップを直送するなど作業コストの削減を徹底して山主への利益還元を努め、燃料



チップの安定供給と未利用材の活用の推進に貢献されています。

更に、機械メーカーと共同開発したハーベスタ・バケットハイブリット機を活用し、森林作業道開設における支障木処理及び作業道開設の効率化、施業コストの低減に取り組む、素材生産業界において、高性能林業機械を活用した作業システムの導入の促進に貢献されています。



向井 王則氏

《農林水産部長表彰》

【団体指導者部門】

草野 安夫 (岡山市)

草野氏は、昭和61年から岡山県木材仲買協同組合の理事、副理事長、理事長を歴任され、25年の長きにわたり卓越したリーダーシップを発揮して市売市場の適正な運営に尽力し、木材流通秩序の適正化及び正量取引に努め、県南部の木材需要拡大の推進に貢献されています。

理事長就任時の平成24年には、(一社)全国木材市売買方組合連

盟通常総会の議長を務め、

国産優良木材取扱店の活用、合法木材の取扱推進等の安定的な木材流通体制づくりのための連携強化を図るなど、木材業界の発展に貢献されています。



草野 安夫氏

竹本 俊郎 (新見市)

竹本氏は、平成26年に新見市森林組合の理事に就任され、経営改革に着手した後、平成29年から代表理事組合長として組合事業の合理化を図るほか、作業路網と高性能林業機械を活用した施業集約化による搬出間伐や、皆伐・再造林等の森林整備を推進し、森林の適

正な保全管理と木材の安定供給に貢献されています。また、令和2年度から稼働開始し



竹本 俊郎氏

た新見バイオマス発電所に向け、関係者と連携して燃料となる木材チップの安定供給体制を構築し、未利用材の利用促進と森林所有者の所得向上に取り組み、地域林業の振興に貢献されています。

長代 直行 (矢掛町)

長代氏は、平成23年に備中南森林組合の監事に就任され、役員のコンプライアンスの遵守に尽力されたほか、平成26年から代表理事組合長として、治山事業など森林の保全再生事業の積極的な受注とともに、堅実な資金管理や内部留保を通じて、経営基盤の強化と健全な組合運営に取り組み、地域林業の振興に貢献されています。



長代 直行氏

また、平成30年7月西日本豪雨災害で甚大な被害が発生した河川周辺の支障木除去や林地の倒木処理等について、組合長以下一丸となって作業に尽力され、早期復旧に貢献されています。

堀 敬司 (真庭市)

堀氏は、平成6年から真庭木材事業協同組合の理事、代表理事を歴任され、27年の長きにわたり組織運営に尽力するほか、真庭バイオマス発電所に向け、地域に先駆けて木質バイオマス集積基地を建設し、これまで山に放置されていた未利用材や枝葉をはじめ、製材所で取り扱いに苦慮していた製材端材や樹皮を燃料チップとして安定供給する体制を構築し、森林資源の循環利用の推進と林業・木材産業の振興に貢献されています。



堀 敬司氏

また、真庭地区木材組合の副理事長、岡山県木材協同組合連合会の副会長、(一社)岡山県木材組合連合会の理事を務め、卓越したリーダーシップを発揮し、木材・製材業界全体の発展に貢献されています。

受賞された皆様の、益々のご活躍をお祈り申し上げます。(林政課 森林企画班)



一 はじめに

県では、環境保全意識の高揚や普及啓発を図るため、小・中学校や各種団体（職場単位、町内会、子供会、こどもエコクラブ等）を対象に、環境学習エコツアーを実施しています。


本ツアーでは複数のコースから希望するコースを選択することができ、令和元年度からは、おかもま森づくり県民税を活用した「森林環境学習コース」を追加し実施しています。

二 森林環境学習コースについて

このコースは、県内の林業関連施設をバスで巡りながら、森林・林業・木材についての体験学習を行う内容になっています。

Aコースは、森林の恵みや働きについて学ぶコースです。鏡野町にある県立森林公園のブナ林等をガイドとともに散策し、自然の豊かさのほか、私たちのくらしに欠かせない森林の働きを体感してもらいます。

<各コースの概要>

A (鏡野町上斎原)	B (勝央町植月中・奈義町高円)	C (真庭市勝山)
<p>●県立森林公園（2時間） ブナ林等の季節感あふれる森林散策 森林のはたらきについての学習</p>  <p>©岡山県マスコット「ももっち・うらっち」</p>	<p>●県森林研究所（1.5時間） 植栽から間伐等の林業の仕組みや森林のはたらきについての学習</p> <p>●豊並樹苗生産組合（1時間） ヒノキ、ヤマザクラ等の種子から苗木の生産に至る一連の作業についての体験学習</p>	<p>●県森林研究所木材加工研究室（1時間） 丸太から柱等として利用される流れについての学習</p> <p>●岡山県森林組合連合会（30分） 山から伐り出された丸太にふれる体験学習</p> <p>●勝山ふれあい木材会館（1時間） 木質バイオマス等の地域の特色のある取り組みについての学習</p>



県立森林公園の散策

Bコースは、苗木生産や林業の仕組みを学ぶコースです。県森林研究所で植栽や間伐などの林業技術を体験するとともに、豊並樹苗生産組合でヒノキなどの苗木の生産現場を見学できます。

Cコースは、木材の利用方法や木材の魅力学ぶコースです。木材の産地である真庭地域を巡り、丸太が柱や板になるまでの流れや、家具や食器など暮らしに身近な木製品について実際に触れて学ぶほか、木材のバイオマス発電利用についても学ぶことができます。

三 これまでの実施状況

令和元年度は、公民館利用者やNPO法人等の団体から178名の参加がありました。令和2年度はコロナウイルス感染症の影響も

ありましたが、小・中学生79名が参加しました。

参加者からは「教科書では学べない視点で環境学習ができた」、「木材利用や地球温暖化に関わることなど、分かりやすくお話いただき勉強になった」、「各行程で木材や森林環境を五感で感じられるツアーだった」といった感想があり、実際に体験できたことへの喜びの声が多く寄せられました。



樹齢270年の天然杉を体感

四 終わりに

子どもたちが環境学習を通じて、森林環境への理解を深め、県民全体で岡山の森林を守り育てていくという気持ちを持ってもらえるよう、今後も引き続きエコツアーを実施していくこととしています。

（環境文化部）

新エネルギー・温暖化対策室

# 林業労働災害の発生状況等について

## 一 はじめに

林業における労働災害は長期的にみると減少していますが、災害の発生率等、他の産業に比べて高い状態にあります。

県では、林業の職場が安全で快適なものとなることをめざして、関係機関と連携し、労働災害の防



止に向けた取り組みを推進していきま  
す。  
今回は、労働災害の発生状況や  
県における取組みの内容について  
お知らせします。

## 二 労働災害の発生状況

本県での令和2年の労働災害は、  
死傷者数が34人であり、毎年30  
40人程度の発生頻度となっていま  
す。そのうち、伐木作業中に発生  
したものが全体の約4割と最も多  
く、また、経験年数で見ると、5  
年未満の方の割合が全体の約4割  
を占めており、経験年数の浅い従  
事者に災害が多くなっています。

全国での労働災害は、死亡者数、  
死傷者数のいずれも前年に比べ増  
加しており、そのうち死亡災害発  
生状況は、50歳以上が全体の約8  
割、作業種別の死亡災害では伐木  
作業中の災害が全体の約6割とい  
う結果となっています。

また、令和2年における林業の  
死傷年千人率（1年間の労働者千  
人当たりが発生した死傷者数の割  
合を示すもの）は、25.5となり、  
前年と比較し4.7ポイント増加し  
ています。全産業の年千人率2.3  
と比較すると、林業の労働災害  
の発生率は11倍となっております。

産業の中で最も高い値を示してい  
ます。

林野庁では、新たな「森林・林  
業基本計画」において、今後10年  
を目標に死傷年千人率の半減を目  
標に掲げ、労働災害のさらなる減  
少を目指して、補助事業等におい  
て作業安全に関する要件を設定す  
るなど、対策を強化していくこと  
としています。

## 三 県における取組み

県では、関係機関と連携し、お  
かやま森づくり県民税を活用した  
安全装備や労働強度軽減資材の導  
入支援、巡回指  
導等を実施し、  
労働災害防止に  
取り組んでいま  
す。

安全装備の導  
入では、チェー  
ンソー作業用防  
護衣や防振・耐  
切創手袋のほか、  
熱中症対策とし  
て空調服を導入  
する事業体も増  
えています。

## 四 最後に

林業は多様な自然環境の中で、  
危険な作業を行う業種です。もし  
ものことを想定し、事前に対策を  
行っていることが、労働安全の確  
保につながります。

安全装備の徹底のほか、事前に  
作業員の体調管理や、作業内容の  
事前ミーティングを実施し、災害  
防止の準備を怠りなく行うよう心  
がけてください。

(林政課 普及指導班)



## 休業4日以上の死傷者数等の推移 (単位:人)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	
全国	全産業	117,910	120,460	127,329	125,611	131,156
	千人率	2.2	2.2	2.3	2.2	2.3
	林業	1,561	1,314	1,342	1,248	1,275
	千人率	31.2	32.9	22.4	20.8	25.5
岡山県	全産業	1,821	2,113	2,199	2,121	2,337
	林業	47	31	34	34	34

資料：死傷者数は「労働者死傷病報告」、千人率は「業種別死傷年千人率」(厚生労働省)





**美作東備森林組合赤磐支所**

**春名 圭吾さん (30歳)**

今回は、美作東備森林組合赤磐支所の春名圭吾さんをご紹介します。春名さんは令和元年度に美作東備森林組合に採用され、2年間の本所勤務を経た後、令和3年4月に赤磐支所へ配属されました。



美作東備森林組合 春名 圭吾さん

現在、春名さんは東備地区を管轄する平井所長のもと、業務を行っています。

**一 経歴**

春名さんは、津山市のご出身で、同市の高校を卒業後、津山市役所

に就職されました。その後、市役所を退職し、北海道で農業やスキ

ー場で働きながら5年間過ごされた後、26歳で帰岡されました。27歳での結婚を機に、奥様の実家に近い美作市土居(旧作東町)へ引っ越し、近くでの仕事を探したところ美作東備森林組合(本所)の職員募集を見つけ、就職を決められたそうです。

普段の春名さんは、高校の頃からエレキギターが趣味で、弟さんがベースやドラムをされることもあり、地域のイベントと一緒に演奏されることもあるそうです。また、現在、3歳の息子がおられ、休日にはご家族で過ごされているそうです。



事務所でのデータ入力作業

**二 仕事の内容**

採用時に配属された本所では、主に測量、調査、緑の雇用研修の管理や森林経営計画などの業務を行っています。

赤磐支所への配属は、平井所長の後継者として期待されていることであり、管内の森林状況の把握や、組合員さんとの関係構築に励んでおられます。

また、本所のある県北部では造林、保育の業務が主だったのに対し、県南部地域を管轄する赤磐支所では支障木伐採や道の草刈りなどの比率が高く、現在はソーラー発電のパネル設置に伴う伐採の現場管理などを行っています。

**三 仕事への思い**

「山が好きなので現場での業務は楽しい」と言う春名さん。一方で東備地区には土地勘がなく、道や山を覚えるのが大変とのこと。

平井所長から、地域の情報を継承していきたいと意欲を見せておられました。

**四 上司から一言**

平井所長に伺うと「私も現在57歳であり、後継者育成は懸案事項

だった。春名さんは真面目で穏やかな人柄であり、良い人が来てくれたと思っている。これから共に仕事をしていく中で東備地区の仕事を伝えていきたい。」と話されました。

**五 終わりに**

春名さんは前歴経験が豊富なこともあり、新卒採用者に見られがちな消極的な印象はありません。一言で言うと「頼りになりそうです」。



現場での調査

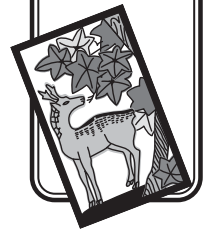
春名さんの今後の活躍を期待するとともに、当普及指導区としても、支援していきたいと考えています。

(東備普及指導区 阿部 剛俊)

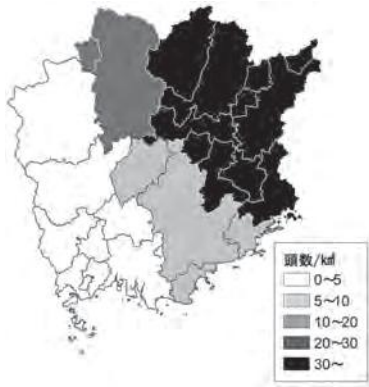


研究  
だより

シカ被害の軽減に向けた試み  
— 防護柵の機能維持を目指して —



令和元年度末における県内のシカ生息数は約5万6千頭（中央値）で、減少傾向にあると推定されています。農林水産業被害も平成23年度をピークに概ね減少傾向ですが、令和2年度には約3,200万円の被害が発生しており、被害対策を継続していく必要があります。県内のシカの生息地域は、東部に多く、西部は少ないといわれており、少し古いデータですが、平成30年度末では、実際にそのような傾向があります。



シカの生息密度 (H30)

一方、前年度からの生息数の増減は、東部では減少、中部で増加しており、今後、生息地域の拡大により中部や西部でも被害の顕在



生息数の増減 (H30)

化、深刻化が懸念されます。

農地では頻繁に作業を行うため、比較的早期に被害を発見できず、造林地は現地に赴く機会が少ないため、被害を見つけないといえます。また、シカの生息地の中心であるため、農地で被害が出たときには、既に造林地で被害が発生している可能性が高いと考えられます。

植栽木をシカによる被害から守るため、防護柵やツリーシールドなどが使われていますが、その多くは公共事業によるもので、一般にはあまり普及していません。これは、費用が高いこと、気象や獣類による破損などにより、被

害を抑制する効果が小さいと考えられているためと思われます。

では、どうしたら効果を高められるのでしょうか。森林研究所では、平成28年度から、公共事業で植栽された造林地に設置した防護柵を定期的に踏査し、倒木や穴あきなど柵の機能に影響する破損を早期に修繕することにより、被害抑制効果の持続が可能か調査しています。

調査地ではシカの生息数が多く、調査開始当初は、防護柵を噛み切ろうとした痕跡が多く見られましたが、数ヶ月間で破損は急激に減少しました。また、シカが絡まつたり、降雪により柵が破損した際、シカが柵内に侵入したため、一部で軽微な食害が見られましたが、早期の修繕により、ほとんどの植栽木は無被害でした。

踏査頻度は、調査開始当初は2週間に1回実施しており、現在は、年間4回まで減らしていますが、効果は持続しています。

以上のことから、定期的に踏査することで、防護柵の効果を維持できることが分かりました。しかし、頻繁に踏査を行うことは、労務的にも費用的にも負担が大きいです。そこで、植栽直後や雪解け直後等を除いた時期においては、



ドローンを使った柵の点検

ドローンを活用した定期的な調査ができないか検討を行っています。

ドローンによる調査は、草が繁茂した地際を確認することは難しいですが、下刈りを行っていただければ問題ありませんでした。また、ズームカメラが搭載されていると、より詳細な点検が可能でした。現在、起伏の激しい地形や残存木等の障害物のある林分で効率的に調査を行う方法として、自動飛行の軌跡を利用した自動飛行ルートの作成を検討しており、支障木の少ない林分では効率的な調査が実施できるようになってきました。

多くの方が取り組みやすいよう、作成にはフリーアプリを使用しています。まだ改善すべき点がありますが、汎用性の高い手法として調査中です。

(林業研究室 三枝 道生)

## 技能講習会の開催（12月～2月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程		申込・問合せ先
伐木（特別教育）	津山	2月16,17日	(実技) 2月18日	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)236-7077
刈払（安全衛生教育）	津山	1月17日		
小型移動式クレーン運転	岡山	1月20,21日		一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL(086)225-3571
玉掛け	岡山	1月13,14日、1月15,16日、 2月3,4日		
	笠岡	2月14,15日		
フォークリフト運転	津山	2月24,25日		
	岡山	12月1日、12月18日 1月5日、2月2日		
	和気	12月7日		
	笠岡	2月16日		

## 森林体験イベント（12月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

会 場	日 程	内 容	申込・問合せ先
共生の森・井原 (井原市西江原町)	12月18日	間伐体験	井原市森林組合 TEL(0866)72-0161
龍ノ口グリーンシャワーの森 (岡山市中区祇園)	12月4日	つる切り・つる細工体験	「龍ノ口グリーンシャワーの森」を守る会事務局 TEL(086)275-5073
共生の森・柵原 (美咲町書副)	12月11日	除伐・間伐・枝打ち体験、 しいたけ植菌	久米郡森林組合 TEL(0868)66-0053

### ✪ 新たにドローン導入しました ✪

苗木・資材運搬に活用し、労務負担軽減と作業効率UPに期待！  
興味のある方または検討されている方は、当会までご相談下さい。

### 🔪 共販日（特別市）のご案内 🔪

各共販所へ多くの出荷をお待ちしております。

【勝山木材共販所】真庭原木買方組合特別記念市及び納市

12/22（水）9時30分～

【津山木材共販所】久米郡森林組合特別市及び納市

12/22（水）10時50分～

【新見木材共販所】納市

12/23（木）9時30分～



[写真：コンテナ苗運搬状況（約10kg）]

Forest 岡山県森林組合連合会 tel 086-236-6530

## 優良種菌で確かな収穫

# もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び  
栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製 造 森産業株式会社  
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104  
TEL 岡山(086)805-7033(代)



緑あふれる環境づくり

株式会社 山 都 屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号

TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142

http://www.yamatoya-net.com

大阪営業所 津山営業所 水島営業所



## 林 産 物 市 況



## ●木 材 (10月27日)

単位：千円/m<sup>3</sup>

樹種	長さ	径 級	直材	小曲り	樹種	長さ	径 級	直材	小曲り
杉	3 m	1 4～1 6	—	14	桧	3 m	1 5～1 6	40	25
		1 8～2 0	—	14			1 8～2 0	32	25
		2 2～2 8	15	—			2 2上	26	24
	4 m	1 8～2 0	11	10.5		4 m	1 6～1 8	38	36
		2 2～2 8	13	10.5			2 0～2 2	29	26.5
	6 m	1 6～1 8	15	12		6 m	2 4～2 8	29	26.5
					1 6		—	—	
					1 8～2 0	50	47		
・出荷材積				約1,300m <sup>2</sup>					
(共販所より概況)									
杉概況					桧概況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・横這いで安定した相場が続いている。</li> <li>・30cm以下の2番木良材は3m造材が有利</li> <li>・シミ小曲材は4m造材でお願いします。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・元木の相場は安定</li> <li>・並材は出荷量の増加により、下げ傾向が続きそうな様子</li> </ul>				
【3m】		【4m】			【3m】		【4m】		
柱材	横這い	中目材	横這い	柱材	やや弱含み	柱材	やや弱含み	中目材	やや弱含み
中目材	横這い	元木	横這い	中目材	やや弱含み	中目材	やや弱含み	元木	横這い
				元木	横這い	元木	横這い		

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

## ●製 材 (10月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ～ 高 値 (円/m <sup>3</sup> )	備 考
ス ギ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	115,000～	
	正角 3m 12cm角	特等	K	100,000～	
ヒ ノ キ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	150,000～	
	正角 3m 12cm角	特等	K	130,000～	
	正角 4m 10.5cm角	特等	K	150,000～	
	正角 4m 12cm角	特等	K	130,000～	
マ ッ	平角 4m 10.5～12cm ×15～18cm	一等	K	75,000～	
米 マ ッ	正角 3m、4m 10.5cm角	特等	G	95,000～	
	平角 3m、4m 10.5 ×15～21cm	特等	G	90,000～	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm角	特等	K	130,000～	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	130,000～	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース  
造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齢樹保護カバー〕くわんたいⅡ 〔樹皮食い防止〕バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕マッケンジー・マツガード・他 〔野生草食獣侵入防止〕防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社

TEL.086-292-5525

販売元：大同商事(株)大阪営業所

TEL.06-6384-1288



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助  
治山・林道の調査、測量、設計、積算  
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711

津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



CT-500C

・GP-532  
小型ハイパワープロセッサ  
**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<http://www.mitsuyoshi.com/>

おかやまの木で家づくり支援事業

- ✓助成金額：最大24万円/戸
- ✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）



詳細は  
コチラ

<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人岡山県木材組合連合会

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)

TEL(086)231-6677 FAX(086)232-7549

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号  
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130



ほっけー木になる情報

**Q. 岡山県の少花粉品種の種子は、どこでどのように生産されていますか？**

**A.** 岡山県農林水産総合センター 森林研究所内の採種園において、本県の少花粉スギ・ヒノキ種子の全量を生産しています。現在、当研究所で管理している少花粉スギ・ヒノキ採種園（合計約14畝）では、主に以下の作業を経て種子を出荷しています。

- 〈①ジベレリン処理〉採種前年の夏頃、スギには葉面への散布処理を、また、ヒノキには形成層への塗布処理をそれぞれ行い、着花結実を促進します。
- 〈②交配袋掛け〉採種前年の冬頃、雌花が着生した枝葉に交配袋を掛け、外部からの花粉による自然受粉を未然に防止します。
- 〈③花粉採取〉採種当年の冬頃に、雄花が着生した枝を採取し、温室等で水挿しを行った後、開いた雄花から花粉を採取します。
- 〈④人工授粉〉採取した花粉を花粉銃で交配袋内に注入し、袋内の雌花に受粉させます。
- 〈⑤カメムシ防除〉採種当年の夏

頃から、球果が着生した枝葉に特注の防虫袋を掛けて、カメムシ類による種子の吸汁被害を防止します。

〈⑥採種〉枝葉に着生した球果を、高所作業機も活用して採取します。

〈⑦種子乾燥〉採種した球果を乾燥させ、球果内の種子を取り出しやすくします。

〈⑧種子精選〉取り出した種子から未成熟種子を精選機で取り除き、健全な種子を選り分けます。

〈⑨発芽検定〉一定の環境下で、期間内に発芽した種子の割合を算出します。

〈⑩種子配付〉発芽検定が完了した種子を、岡山県山林種苗協同組合を通じて苗木生産業者に配付します（例年3月頃）。



花粉銃を用いた人工授粉の様子

今後、近隣県との苗木の相互融通も想定されることから、当研究所では、これに対応すべく、種子生産性の一層の向上に努めてまいります。

（森林研究所 林業研究室）

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
<b>グリーンフォーマット</b> 〔切土軟岩用〕	<b>森樹郎マット</b> 〔切土土砂用〕	<b>森樹郎マット21</b> 〔切土土砂用〕	<b>張りウッド</b> 〔盛土用〕	<b>ハリシバモック</b> 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目  
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり  
**Nihon 日本植生株式会社**

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 580-1 TEL (0868) 28-0256  
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」



**「緑の募金」** ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs（持続可能な開発目標）

募金期間

春のみどりの月間  
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間  
10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ  
 ゆうちょ銀行 01270-0-5225  
 中国銀行岡山駅前支店 1852041  
 トマト銀行岡山駅前支店 1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会  
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

林声

令和三年十一月一日（第四八十号）  
（隔月一日発行）

編集 発行

〒701-1202 岡山県森林組合連合会内 岡山市北区橋津四九一―一 岡山県林業改良普及協会



全 景



キャンプ場



ロープウェイ

森林・林業施設の紹介

「早島町ふれあいの森公園」

今回ご紹介する「早島町ふれあいの森公園」は、平成元年度に多目的保安林総合整備事業で整備された都市近郊型の公園で、瀬戸中央自動車道の早島ICから車で約5分のところにあります。

園内には、森を散策しながら周遊できる遊歩道、日帰りや宿泊が可能なキャンプ場などが整備されており、家族連れで気軽に訪れることができ、自然をゆっくり満喫できる公園です。

なかでも特に人気なのは、アスレチックコースです。木製を中心に11基の遊具を備えており、一日

中、子供達の歓声が聞こえてきます。

公園を管理する早島町では、令和2年度に森林環境譲与税を活用し、老朽化したロープウェイの梁を交換したところであり、今後も遊具等の整備に積極的に県産材を利用していく方針とのことです。

4月には桜並木が見事です。是非、週末のドライブコースに組み入れ、訪れてみてください。

（倉敷普及指導区 田畑 秀将）

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林  
加入期間は？ 1年単位で何年でも！  
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約4千5百万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年  
保険期間…5年 保険金額…最大188万円  
一括払いだと27,444円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年  
保険期間…5年 保険金額…最大299万円  
一括払いだと43,325円（5年間計）

1ヶ月あたり  
約460円

わずかおむすび  
4個分

1ヶ月あたり  
約720円

わずかラーメン  
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

認定番号  
K0809236